

川と人と 水道と

― 神田上水・千川上水と文京 ―

徳川家康の江戸入府以降、徳川幕府の城下町としてまちづくりが本格的に進められ、江戸市中に暮らす人々の生活を支えるための、都市用水の敷設が必要となりました。家康の直参家臣団の一人である大久保藤五郎が関わったという神田上水、町人出身の玉川庄右衛門・清右衛門兄弟が工事を担った玉川上水、その分水である千川上水など、江戸の町には6系統の水道網が整備されました。

明治維新後、西洋諸国から招かれた研究者や文化人により、社会の様々な分野に技術や知識がもたらされる一方、コレラなどの疫病も招来し、その対策として近代的な設備の上下水道の敷設が急務となり、技術者の尽力により設置されました。

本年度の特別展では、江戸の水道網の中から、文京区とゆかりの深い神田上水と千川上水の消長や、近代の上下水道の整備について紹介します。

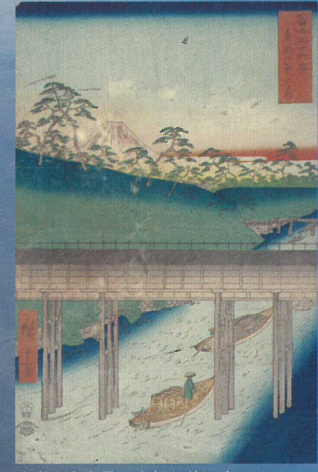
令和6年度 文京ふるさと歴史館特別展

川と人と 水道と

― 神田上水・千川上水と文京 ―



東都名所 御茶ノ水之図



富士三十六景 東都お茶の水



江戸名所道戯尽 御茶ノ水の釣人

2024 10.26(土)~12.8(日)

開館時間 10:00~17:00 入館料 100円(20名以上の団体は一人70円) 休館日 毎週月曜日

※11月4日(月)は開館し、翌日の11月5日(火)は休館します。中学生以下と65才以上の方、障害者手帳など提示により、ご本人と介護の方1名は無料です。
※11月3日(日・祝)は無料公開
※文京区立森鷗外記念館入館券の半券を持参の方は、団体料金にてご観覧いただけます。

特別展開連事業

- 新宿区立新宿歴史博物館特別展「江戸の水道 玉川上水」
会期：令和6年10月5日(土)~12月1日(日)
- 東京都水道歴史館「上水記展」子ども水道れきてん
会期：令和6年10月26日(土)~令和6年11月4日(月・祝)

※それぞれの館の展示や付帯事業については、各館のホームページにてご確認ください。
※10月5日~12月8日までの間に、新宿歴史博物館と東京都水道歴史館、文京ふるさと歴史館の3館にご来館の上、合同スタンプラリーに参加された方に記念品(3種類1セット)を差し上げます。各館、先着500名様、3館の合計で1500名様までとなります。

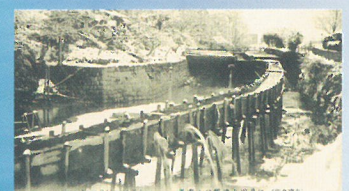
特別展付帯事業

- 記念講演会「法制史からみた江戸上水の管理」
日時：11月30日(土)午後2時~4時(開場は1時30分)
募集人数：100名
講師：坂路智美氏(専修大学法学部教授)
会場：文京区男女平等センター研修室A(文京区本郷4丁目8番3号)
- 記念講演会の応募方法や受付開始時期などの詳細は、「区報ぶんきょう10月10日号」(10月10日発行予定)と、当館ホームページにてお知らせします。
- 展示解説 11月1日(金)、7日(木)、13日(水)、19日(火)の各日午後1時30分から30分程度、特別展の解説を行います(内容は同一、事前申し込み不要)。

文京ふるさと歴史館 〒113-0033 東京都文京区本郷4丁目9-29 Tel 03-3818-7221 <https://www.city.bunkyo.lg.jp/rekishikan/index.html>



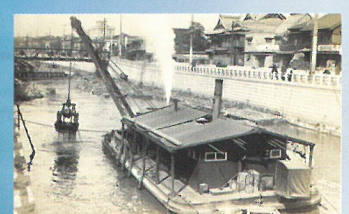
帝都名所・小石川水道橋付近(絵葉書)



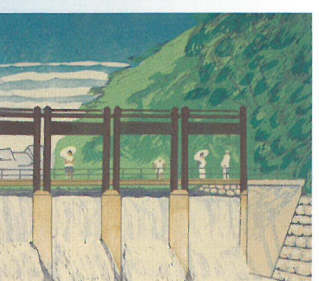
東京名所江戸川上流関口ノ雪景(絵葉書)



関口大洗堰の古写真



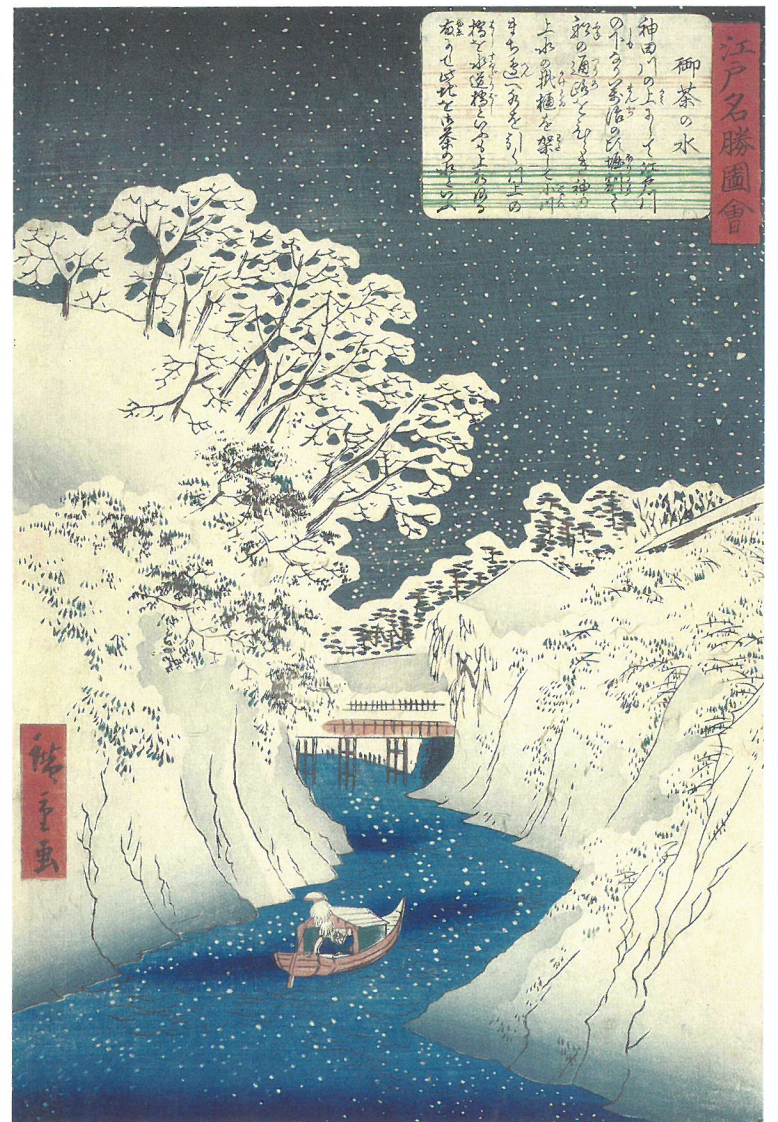
神田川浚深風景(古写真)「京都市小石川区江戸川陸運橋下流」



東京真画名所図解 水道橋



昭和大東京百図絵版画 関口大滝



江戸名勝図会 御茶の水

●交通案内

- [東京メトロ丸ノ内線]「本郷三丁目」駅(1番出口)徒歩5分
- [都営大江戸線]「本郷三丁目」駅(3番出口)徒歩5分
- [都営三田線・大江戸線]「春日」駅(A2出口)徒歩5分
- [都バス]都02/上69「真砂坂上」停留所徒歩1分
- [文京区コミュニティバスB-ぐる]「文京シビックセンター」または「ラクーア」徒歩10分、同「菊坂通り」徒歩6分

文京ふるさと歴史館 〒113-0033 東京都文京区本郷4丁目9-29 Tel 03-3818-7221 <https://www.city.bunkyo.lg.jp/rekishikan/index.html>

